

琵琶湖漁業について

①アユの産卵調査の結果について

今シーズンのアユの産卵調査の結果はどのようなものか。以下、指名するまで農政水産部長に答弁をお願いします。

②ヒウオ生息状況調査について

ヒウオ生息状況調査はどのようになっているか、お尋ねします。

③早期採捕の状況について

12月1日からの早期採捕の状況はどのようになっていますか。

④早期採捕のアユの漁獲実績の推移について

早期に採捕されるアユの需要は年々減少し、コロナ禍で拍車がかかっています。業者から県漁連への今年の注文量は11.5トンで、昨年よりも1トンも減っています。早期のアユの漁獲実績の推移についてお尋ねします。

⑤需要が減っている要因について

早期採捕の活アユは、琵琶湖漁業の最大の収入源でした。その需要がここまで落ち込んだ要因はなにか、お尋ねします。

⑥琵琶湖のアユの評価について

琵琶湖のアユは、食用としても放流用としても優れた価値をもっていると考えますが、所見をうかがいます。

⑦アユの普及をどう図るか

「年収1千万円」を掲げるが、琵琶湖漁業の中心的魚種であるアユの普及をどのように図るのか、おたずねします。

⑧ビワマスの評価について

固有種であるビワマスの評価についてもおたずねします。2016年第4回Fish-1グランプリのプライドフィッシュ部門で、天然ビワマスの親子丼が並み居る外洋の魚を抑えてグランプリに輝きました。とくにビワマスの刺身は、マグロにも負けない上質な脂がのって口の中でとろける味わいが楽しめ、塩焼きや煮付けなど、どんな料理にしてもおいしい魚だと思えますが、所見をうかがいます。

⑨セタシジミの評価について

シジミのなかでもその味の良さについては定評がある琵琶湖の固有種のセタシジミの評価についてもおたずねします。

⑩湖魚の普及の取組みについて

琵琶湖の魚の価値を多くの県民に理解してもらい取組みをもっと強めることが必要だと思います。まず地元滋賀県民のなかで湖魚を見直し、評価を高め、普及し、そこから県外に広げていくことが大事だと考えますが、知事の答弁を求めます。